

【ガドリニウム造影MRI検査を受けられる方へ】（検査機器の共同利用）

予約票と一緒にお渡しするMediOS説明動画もご覧ください。

● ガドリニウム造影剤の副作用

この検査では、ガドリニウム造影剤という検査薬を使用します。造影剤は病気の診断や、状態を明らかにするために用いますが、下記に示すような副作用が起こることもあります。

- ・ 重い副作用: 呼吸困難、意識障、ショックなどが0.1%以下の割合で起こります。投薬注射や点滴、重症の場合は気管内挿管などの処置を行う場合があります。時には後遺症を残すことがあります。症状・体質によっては、0.001%以下の割合で死亡例が報告されています。
- ・ 軽い副作用: 吐き気、順吐、動悸、頭痛、かゆみ、くしゃみ、発疹などの症状が5%以下の割合で起こります。これらは治療を要さないか、1~2回の投薬注射で回復するものです。
- ・ 造影剤の注射中に、血管の外に造影剤がもれることがあります。少量もれた場合は時間がたてば自然に吸収されますので特別な処置は必要ありません。造影剤が多量にもれた場合は、皮膚を切開するなどの処置が必要になることがあります。また、注射部位やその周辺の痛み・しびれが残る場合もありますが、非常にまれです。

● ガドリニウム造影剤の禁忌 次

次に該当する方は造影MRI検査は実施できません。

- ・ ガドリニウム造影剤に過敏症の既往歴のある方、重篤な甲状腺疾患のある方は禁忌になっております。
- ・ 気管支喘息、重篤な心障害、重篤な肝障害、重篤な腎障害、急性膵炎、マクログロブリン血症、多発性骨髄腫、テタニー、褐色細胞腫などの疾患の方、ならびに糖尿病のお薬を飲んでおられる方は造影ができない場合があります。

● 検査前の食事と服薬

- ・ 常用薬は普段通り服用してください。
- ・ ただし、欠食の前後で服用する糖尿病治療薬(内服・注射薬)は中止してください。
- ・ 検査3時間前からの食事、お茶とお水以外の飲物の摂取は禁止です。(MRCPは3時間前から絶飲食となります。)

● 検査中の注意

- ・ 造影MRI検査で造影剤を注射するときには、体が熱くなることがありますが、造影剤による一時的な刺激であり心配ありません。
- ・ 注射中に針の周囲が痛い場合や、気分が悪い場合、息苦しい場合は、ただちにお知らせください。

● 検査後の注意

- ・ 造影剤を尿として体外に出すために、水分制限の必要がない方は、十分に水分をお取りください。医師により水分制限をされている方は、医師の指示どおりにしてください。
- ・ まれに検査終了後数分から数日にかけて吐き気、むくみ、かゆみ、発疹などの副作用が現れることがあります。その際は当院にご連絡ください。

● その他の注意点

- ・ 授乳中の方は、この造影剤注射後48時間は授乳しないでください。

社会医療法人石川記念会 HITO病院

TEL (0896)-58-2222

サポートセンター 0570-035320 ナビダイヤル①

2024.9.2 ver.1